留学生の就活日記(2012年)

日本の大学の留学生の就活日記をお読みください。就活とは、「就職活動」を短くした言い方です。就活とは、会社員や公務員になるために、企業や役所の情報を集め、働きたいところを決め、試験を受けるという活動のことです。

これは、A さんと B さんの就職の体験談です。お二人の体験談としてお読みください。日本における外国人留学生の一般的な就職活動については、下記の書籍やサイトで詳しく紹介されています。

・『外国人留学生のための日本就職オールガイド』(2009)　野澤和世他　凡人社
・独立行政法人日本学生支援機構『外国人留学生のための就活ガイド』
http://www.jasso.go.jp/job/guide.html

プロフィール

A さん

中国南部出身。中国の高校を卒業後、来日。

日本で2年間日本語学校に通い、大学に入学。
大学では、日本語と日本文学を学ぶ。
就職先：日本のホテル

B さん

韓国出身。韓国の高校を卒業、その後、兵役を終えて来日。日本で1年間、日本語学校に通い、大学に入学。大学では経済を学ぶ。
就職先：日本のメーカー
職種：システムエンジニア

日本の就職制度

日本の多くの企業は、「新卒一括採用」というやり方で、学生を採用しています。「新卒」というのは、「大学を卒業したばかりの人」のことで、「一括採用」というのは、一定の期間に面接や試験をして、4月に入社する人をまとめて採用をする方法です（日本の大学の多くは、4月入学3月卒業）。そのため、日本では、たいてい大学3年生から就職活動を始めます。

3年生4月

就活開始！

私は、大学3年生の4月から、就職情報サイトに登録をして、情報収集を始めました。就職情報サイトというのは、就職活動に必要な企業の情報を集めたサイトで、企業の採用情報や説明会などの情報があります。自分の名前・住所などを登録すると、企業の採用情報などを集めることができます。

ちなみに「留学生だけの採用枠」は少ないので、日本人学生と同じ条件で就活をするんですよ。

3年生７月

インターンシップ

私は、７月から、企業の「インターンシップ」に応募して、夏休みにインターンシップに参加しました。インターンシップをしてみて、「この仕事は私には合わないな」と感じた仕事もあり、いい経験になりました。

インターンシップとは、民間企業や市役所などで仕事の体験をするプログラムのことです。期間は、３日から２週間程度の場合が多いです。原則、給料はありません。

私も関心がありましたが、バイトをしないと生活費がなくなるので、できませんでした。

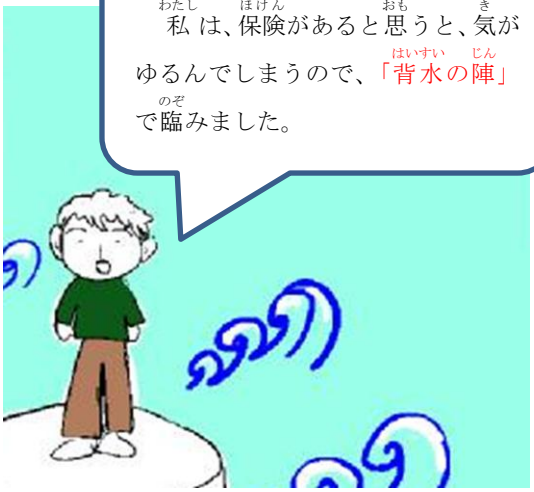
3年生8月

「保険」をかける？

私は、先輩たちが、なかなか就職が決まらなくて苦労しているのを見ていたので、万が一、どこも決まらなかったときのことを考えて、希望の業種ではなかったのですが、中国進出中の企業で事務のバイトを始めました。「保険」です。

「保険をかける」というのは、もし、ある計画が失敗した場合、何をするか準備をしておくことです。

つまり、A さんは、「入りたい会社に入れなかった場合、アルバイトをしている企業の社員になろう」と考えたのです。



私は、保険があると思うと、気がゆるんでしまうので、「背水の陣」で臨みました。

「背水の陣」とは「後ろは川で、逃げ道がない状況で戦う」という意味です。「逃げ道はないから、必死でがんばる」ということですね。

3年生9月

試験勉強

私は、このころは、試験勉強をしていました。試験の内容や順番は企業によって違いますが、一度では終わりません。

例

・エントリーシート提出

（エントリーシートで落とされることも多い）

・一次試験　面接と適性検査と性格検査

・二次試験　面接と筆記試験と小論文

・三次試験　面接とグループ討論

・四次試験　最終面接

適正検査と性格検査は、たいていの企業で行っていて、パソコンで受ける検査が多いです。

筆記試験は、最近のニュースについて問う時事問題や、漢字、英語などで企業によってかなり異なります。

適性検査とは？

人はそれぞれ、「私は計算が早い」等、得意なことと、得意でないことがあります。そのようなそれぞれの人の能力が、ある仕事に向いているかどうかを調べる検査です。具体的には、文章の意味を正確に理解する力や、計算能力、グラフや表から情報を読み取る力などを調べます。いずれも、たくさんの問題をどんどん解いていき、どれだけ正確にできるかを調べます。

性格検査とは？

「社交的だ（他人とつきあうのが上手で誰とでも仲良くできる」とか、「ねばり強い（失敗してもあきらめないでがんばる）」といった性格を調べる検査です。「なんでもしっかり計画を立ててから実行するほうだ」のような質問に「はい」「いいえ」で、どんどん答えていく検査です。

3年生 12月

説明会に参加

この時期は、大学や企業で「説明会」が開かれます。説明会では、その企業がどんな事業をしているか等を聞いて、自分が応募する企業を決めるのです。

3年生 12月

就活開始！

私は、３年の１２月から就活を始めました。説明会に参加し、自分がどんな職業に向いているのか、友人たちと話し合ったりしました。

3年生 12月

面接対策セミナー参加

この時期に、大学で学生のために、「面接対策セミナー」が開かれます。「面接対策セミナー」とは、面接の練習をする講習会です。「面接で何を見られるのか、どう答えたらいいのか」等を、特訓します。就活で、面接は、非常に重要なのです。

3年生 1月

エントリーシート

この時期から、応募が始まります。企業に「エントリーシート」を提出します。「エントリーシート」というのは、企業独自の応募書類のことです。そして、試験と面接が始まります。

エントリーシートには、名前・経歴のほかに、「どうしてその会社に応募したのか」とか、「あなたは、どのような人間ですか。自由に表現してください」といった自己ＰＲを書く欄があります。

面接で聞かれたこと

・どうして我が社に応募したのですか。
・どうして母国ではなく日本で就職するのですか。
・将来は、母国に戻って仕事をしたいですか。
・母国と日本以外の国で仕事をする気はありますか。
・どうして〇〇大学を選んだのですか。
・学生時代にがんばったことは、何ですか。

政治的な質問は？

就活中、日本と母国で政治的な摩擦がありましたが、面接では政治的な質問は、ありませんでした。

3年生２月

お祈りメール

この時期は、エントリーシートを提出して、面接と試験を受け、企業から結果が届き始めます。

不採用の連絡は、最後に「〇〇さまの今後のご活躍をお祈り申し上げます」と書いてあるため「お祈りメール」と呼ばれています。

一喜一憂の日々

3年生3月

内定獲得！

３月に内定（卒業後の4月から採用するという約束）をもらいました。

１年間の就活は、長かったです。来年の4月から働くのが、楽しみです。

私も、３月に内定をもらいました。

私は、４か月間の短期戦でしたが、アルバイトも休めなかったので、体力的には厳しかったです。でも、自分の将来のことを考える良い機会でした。

後輩からの質問

Q1.　母国ではなく、日本での就職を選んだ理由を教えてください。

機会の平等性

日本の就活でも最初の書類審査で大学名で落とされることがあると聞いています。しかし、「コネ(親や親戚がその企業の役員であるといった関係)や紹介状がなくても誰でも入りたい企業に応募する機会が与えられている」という平等な社会環境を使わないのは、もったいないと思い、日本で就職をしました。日本の「やりたい仕事や憧れの生活が、がんばって手を伸ばせば手に入る」っていう感じが好きです。

Q2.　何社、応募しましたか？たくさん応募したほうがいいでしょうか？

的を絞って

私は、２０社応募して、面接までいったのが10社、内定をもらったのは、2社です。４０社も５０社も応募する人もいますが、本当に自分が働きたいと思う会社に絞って、就職活動をしたほうがいいと思います。

Q3. 就活で「留学生だから大変だ」と感じたことは？

ハンディキャップは無！

特にありませんが、しいて言えば、筆記試験の日本語の長文読解は、時間がかかるので、日本人学生よりは大変です。でも、日本語と中国語ができるという点では有利だったと思います。

私も、特にありません。私は、親から仕送りをもらわずバイトで生活費を稼いでいたので、就活に使える時間が少ないのが、ハンディキャップと言えばハンディキャップです。でも、面接で「自分で生活費を稼いでいる」と言えたのは、強味だったと感じます。